

- 1 教科名【国語】 科目名【現代文B】 単位数【3年理系・特進2単位（2年2単位）分割履修】
- 2 対象学年【3年 普通科】
- 3 使用教科書（出版社名）【現代文B（教育出版）】
- 4 目標 ① 近代以降の様々な文章を的確に理解し、適切に表現する能力を高めるとともに、ものの見方、感じ方、考え方を深める。
② 進んで読書することによって、国語の向上を図り人生を豊かにする態度を育てる。
- 5 授業計画

	単元・教材名	学習内容	留意点
一 学 期	1 随想 後生の桜 石牟礼道子 同情トイフコト 大江健三郎	○随筆の特質を理解し、読解力を向上させる。 ○忘れてはならぬ記憶としての水俣病を、人々の生活と言葉をとおして考える。 ○「同情」という言葉のもつ本質的な意味を読み取り、人間が生きるうえでの、あるいは文学における想像力について考える。	
	2 小説 一 アルプスの少女 石川 淳 美神 三島由紀夫	○戦後に書かれた優れた小説を読み、現代小説のテーマや方法の多様性を知る。 ○作中の寓意や比喩を的確に読み取り、作品の主題について理解を深める。	
	3 評論 一 虚構のリアリズム 岡真理 地図の想像力 若林幹夫	○文章の論理的構造に着目して評論文を読み解く力を養う。 ○現実を「表象」という人間の営為について理解を深める。	
二 学 期	4 詩 落葉 ヴェルレーヌ 上田敏/小諸なる古城 のほitori 島崎藤村/ 小景異情 室生犀星	○近代詩、近代日本語の美しい韻律を味わう。 ○それぞれの詩を学び、日本近代詩の特徴であるリズムや形式、比喩などについて学ぶ。	
	5 評論 二 問われる「身体」の 生命 西谷 修 欲望と資本主義 佐伯啓思	○論理的な文章の読解力を高め、論理的な思考力、表現力を養う。 ○生命倫理や資本主義といった、現代社会が直面する問題について認識を深め、課題意識を明確にする。	
	6 小説 二 俘虜記 大岡昇平 おどる男 中野重治	○極限状況に置かれた人間の心理をとおして、近代戦争と人間との関係についての考えを深める。 ○戦後社会の実態をとおして、戦後日本の置かれていた状況や、そこに露呈した人間存在について考える。	
三 学 期	7 評論 三 〈私〉はどこへ行く？ 黒崎政男 技術の変質と二十一 世紀の課題 加藤尚武	○評論文の読解をとおして、現代社会の現状を客観的に分析する思考力を養う。 ○現代技術の進歩とそれが投げかけている倫理の問題から、私たちに課せられた課題を考える。	
	8 小説 三 舞姫 森 鷗外 レポートを書く	○「近代文学の古典」と位置づけられる優れた作品をとおして、人間としての生き方、さらに、恋愛のあり方などという普遍的な命題についての考えを深める。 ○作中人物の境遇や性格、心理を正確に把握する。 ○調査活動や報告の実践を学ぶ。	

6 評価の方法

- ・授業では、毎回漢字・文法・語彙などの小テストを実施する予定である。
- ・小テストの得点は定期考査の結果に加算する。
- ・夏休みと冬休みには、それぞれ課題図書とその読書感想文を課題として課す予定である。
- ・夏休み中に、学習が遅れぎみな者に対する指名補習と、進学を希望する者を対象とした実力アップ補習（希望者）を実施する予定である。
- ・評価は、定期考査や小テスト（知識・理解）を中心に、出席状況や授業への取り組み状況（関心・意欲・態度）、発言や提言（思考・判断）などを総合的に判断して行う。
- ・定期考査は、1, 2学期は中間考査と期末考査を、3学期は期末考査をそれぞれ百点満点で行う。
- ・グループによる調べ学習に付随して、発表の授業とレポートの提出を予定している。
- ・グループ学習による発表学習については、担当教員の評価の他、生徒相互による評価も行い、担当教員が実際の評価を決める際の資料として活用する。
- ・各学習のまとめ段階では、自己評価や相互評価も活用する予定である。
- ・なお、年間授業時間数の1/3以上を欠席すると、単位を認定しないので注意すること。